

ご存知ですか？ 今どきの“むつき”のこと

～いずれ来るその時を快適に～

「人生後半生になっても自分らしく尊厳ある毎日を送りたい」は誰でも願うことです。2018年の日本人の平均寿命は女性が87.32歳、男性が81.25歳で、ともに過去最高を更新しました。女性の半数が90歳まで生きるこの時代、ピンピンコロリを願っても「人生100年時代」のヨロヨロ期は結構長く、このヨロヨロ期をどう生きるか、ドタリ期をどう支えてもらうか、「自分ごと」として何が必要かを考え、生活の知恵を学ぶことは大切です。

今回は「むつき庵」の浜田きよ子さんをお招きし、福祉用具としての最近のおむつ事情をお聞きします。身体が不自由になったり、病を抱えたりして、排泄がうまくできなくなると、生活自体が大変になります。浜田さんは「ケアの大前提は本人が主体」の視点から「おむつフitter」を創設し、介護を必要とする人の自立を促す手だてや、介護する人の負担軽減を伝えるために全国を飛び回っていらっしゃいます。「排泄ケア」は、おむつの問題だけではありません。食生活から、身体の姿勢や座位など生活の質の問題にも関連がありそうです。古い支度の一つとしてご一緒に学んでみませんか？

- ◆ 講師：浜田きよ子さん（高齢生活研究所所長、「むつき庵」代表）
- ◆ と き：7月1日（水）13時30分～16時
- ◆ ところ：ドーンセンター 4階 中会議室 ①
- ◆ 申込先：fax：06-6762-0550 wabas-osaka@mbm.nifty.com
- ◆ 参加費：無料

申 込 書

お名前	
連絡先	
e-mail	会からの「案内メール」が届いている場合は記入不要
所属・お仕事	

※新型コロナウイルス関連や定員満了でご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします